

STUDENT NUMBER Letter

JAPANESE FIRST LANGUAGE

Written examination

Wednesday 22 November 2017

Reading time: 11.45 am to 12.00 noon (15 minutes)

Writing time: 12.00 noon to 2.00 pm (2 hours)

QUESTION AND ANSWER BOOK

Structure of book

<i>Section</i>	<i>Number of questions</i>	<i>Number of questions to be answered</i>	<i>Number of marks</i>	<i>Suggested times (minutes)</i>
1	1	1	25	30
2	1	1	30	40
3	5	1	25	50
			Total 80	120

- Students are permitted to bring into the examination room: pens, pencils, highlighters, erasers, sharpeners, rulers and any printed monolingual and/or bilingual dictionary in one or two separate volumes. Dictionaries may be consulted during the reading time and also during the examination.
- Students are NOT permitted to bring into the examination room: blank sheets of paper and/or correction fluid/tape.
- No calculator is allowed in this examination.

Materials supplied

- Question and answer book of 18 pages, including **assessment criteria** on page 18

Instructions

- Write your **student number** in the space provided above on this page.
- Write all your answers in the spaces provided in this question and answer book. The spaces provided give you an idea of how much you should write.

Students are NOT permitted to bring mobile phones and/or any other unauthorised electronic devices into the examination room.

THIS PAGE IS BLANK

THIS PAGE IS BLANK

TURN OVER

SECTION 1 – Listening and responding**Instructions for Section 1****Text 1, Question 1 (25 marks)**

You will hear one text. It will be played twice. There will be a pause of approximately five minutes between the first and second playings of the text. You may make notes at any time.

Listen carefully to the text and then answer the questions in **JAPANESE**.

TEXT 1**Question 1**

- a. オーストラリア人留学生であるジャネットが、日本のラジオ番組にインタビューされ、歌舞伎を見たことについて語っている。なぜジャネットは歌舞伎が気に入ったのか。

- b. ジャネットは日本が世界に大きい影響をあたえた発明品の例として、小型計算機の他に、どんなものを挙げたか。四つ挙げよ。

- c. ジャネットが言う「日本らしさ」、「日本流」とはどういうことか。

- d. ジャネットの読んだ経済学の本は、日本が経済不況をどのようにして克服し、結果的にどうなったと言っているか。

You may make notes
in this space.

SECTION 2 – Reading and responding**Instructions for Section 2****Texts 2 and 3, Question 2 (30 marks)**Read the two texts and then answer the question in 900–1100 *ji* in **JAPANESE**.**TEXT 2**

ソーシャルネットワークの世界

現代社会のすべての世代の人々にとって、スマートフォンはなくてはならないものになっている。現在、私たちは時間や場所に制限されることなく、タイムリーかつ容易に情報交換をすることができる。これは信頼性が高くスピーディーなコミュニケーションネットワークの普及と、スマートフォン自体の機能のおかげである。

デジタルエコシステムの到来で、コミュニケーションの双方向性が高まった。ソーシャルネットワークは、誰もがメッセージを発信できる公共フォーラムの役割を果たす。例えば最近の選挙において、有権者がソーシャルネットワークを使ってインターネット上にそれぞれの多様なアイデアを載せることによってイニシアティブを取ることができた。また、投票率を促進したり、選挙期間中に候補者をサポートしたりするという面でも一役買った。一方で、緊急時にソーシャルネットワークユーザーがリアルタイムでニュースをレポートすることもでき、記者さながらの役割を担うことも可能だ。

様々なソーシャルネットワークを使って、誰もが表現の自由を楽しめる時代になった。現実社会自体が、大きな変革の時を迎えている。これも、多くの人々がソーシャルネットワークを使って自由に自分を表現し、個人のプライベートをさらけ出し、意見をオンラインで共有するためだ。さらには、人と人との関係も変化した。かつては、自分が属するコミュニティに限られていた関係が、今では離れたところにいる人はもとより、異なる価値観や思想、文化を持つ人々とも、関係を築くことができるようになったからだ。結果として、世界中のすべてのソーシャルネットワークユーザーとつながることも可能なのである。

そのほか、比較的 low cost で効率的なマーケティングが可能になった。例えば、ソーシャルネットワークを使うだけで、日本の歌を、文化の壁を越えて世界のマーケットに売り出すこともできる。以前は、受動的に情報を受け取るだけだった消費者も、今なら積極的に自分をプロデュースすることができる。つまり、消費者は、広告を通して与えられる一方的な情報より、ソーシャルネットワークを通して得ることができる実用的かつ現実的な情報を信頼するようになったということである。

ソーシャルネットワークが登場し、私たちの世代のあらゆる面でプラスの変化をおこしたことで、将来の社会的コミュニケーションシステムの構築に明るい見通しが立った。ソーシャルネットワークにおけるコミュニケーションの双方向性という特徴を利用することで、私たちはより自由に自己表現をし、アイデアを共有し、より幅広い人間関係を築くことで、「情報みな平等」の時代を創っていくべきである。

You may make notes
in this space.

TEXT 3

ソーシャルネットワークの負の影響

以下、東京大学教養学部の多田教授と大阪情報科学研究センターの高橋所長の、ジャーナル誌においての、「ソーシャルネットワークの負の影響」というテーマでのインタビューの抜粋。

多田教授:

不特定多数の一般人により投稿、共有された情報量を、リアルタイムで測定するのは不可能です。その膨大な情報が及ぼす負の影響を特定することも、同様に、いや、それ以上に不可能です。わざと悪い噂を流すことで世論を操作したり、悪質な情報を拡散したり、うその情報をながす事例は、ソーシャルネットワークユーザーが起こす問題の一部にすぎないでしょう。「三人の人間が虎を創る」という中国のことわざにもあるように、同じ情報を何度も、色々な人から聞いていると、その信頼性・健全性がどうであれ、人はつい信じてしまうものだ、ということです。

高橋所長:

一般市民の事例も心配ですが、重要な国家機密の漏えいもはや珍しくありません。企業における企業内秘密も、社員が匿名のフィードバックシステムを利用するにあたって、外に漏れないようにすることは難しくなりました。情報漏えいを防ぐために、様々な政府の機関が、情報公開の規制に関する厳しいソーシャルネットワークの利用ガイドラインを配布するなどして、セキュリティの向上に努めています。

多田教授:

一方で、ソーシャルネットワーク上で表面的な人間関係を作ることは非常に簡単です。ソーシャルネットワークの中では似た者同士がコミュニケーションをとる傾向があり、自分が時に間違っていることに気づかないことが多々あります。ソーシャルネットワーク上の関係は壊すことも簡単なので、真の人間関係が結ばれません。さらに、自己顕示欲があらわになったり、ただ世間に認められたいだけの自分を作ることに夢中になったりしてしまいます。

高橋所長:

偽の広告も簡単に作り出されます。これは、「ソーシャルコマース(社会的商売)」が登場し、情報の正確性や質に関係なく、衝動的に情報を発信するようになったためです。ソーシャルネットワークが唯一無二の絶大な影響力を持った今、その正しい使い方を議論し、広めることは、社会全体の急務であります。

Question 2

あなたは、新聞社が主催するエッセイコンテストに応募することにした。現代社会におけるソーシャルネットワークの影響と適切な使い方について、二つのテキストの内容をふまえて、新聞に投稿するエッセイを書け。(900–1100字)

You may make notes
in this space.

A large rectangular area containing a grid of 25 rows and 20 columns of dashed lines, intended for writing answers. The grid is composed of horizontal and vertical dashed lines forming a series of small squares. The lines are evenly spaced and cover the majority of the page's area.

This is a large rectangular area intended for writing. It is filled with a grid of dashed lines, creating a series of horizontal and vertical guides. The grid consists of 28 columns and 22 rows, providing a structured space for practicing kanji or other characters.

SECTION 3 – Writing in Japanese**Instructions for Section 3****Questions 3–7 (25 marks)**

Answer **one** question in 1000–1200 *ji* in **JAPANESE**.

Space is provided on the following page to make notes.

Question 3

人々の間には競争意識や相互比較の気持ちがある。このことについてはいろいろな意見がある。競争意識について、いい面悪い面の両方から論じる記事を書け。これは学校のニュースレターに載せるものである。

OR**Question 4**

近年インターネットの仲介サイトを通じて個人宅を貸し出すビジネス(民泊)が急激に増えている。そのいい点、悪い点について、貸す側・借りる側の両方の立場から考え、高校のクラスで発表することになった。そのスピーチ原稿を書け。

OR**Question 5**

「良薬口に苦し」ということわざが結末に来る物語を書け。それは地域の新聞に載せるものである。

OR**Question 6**

近年日本では、大学生が在学中に企業で就業体験ができる「インターンシップ」を実施する企業が増えている。インターンシップは企業側、学生側の両方にとって有益な部分もあるが問題点もある。その両方を考えてあなたが考える理想的なインターンシップについて大学の学生課に送る手紙を書け。

OR**Question 7**

あなたは「僻地^{へきち}の自然の中に住む一週間チャレンジ」に応募した。採用されると深い森の中の小さな小屋で一人で生活することになる。持って行っていいものは、自分で持てるだけの日用品、日記、食糧のみ。この企画に採用されて一週間を過ごした最終日の日記を書け。これはこの企画の企画者側に公開されるものである。

You may make notes in this space.

Write your response on the following pages.

SECTION 3 – continued
TURN OVER

Assessment criteria

Section 1 – Listening and responding

- the capacity to understand general and specific aspects of texts
- the capacity to convey information accurately and appropriately

Section 2 – Reading and responding

- the capacity to identify and synthesise relevant information and ideas from the texts
- appropriateness of structure and sequence
- accuracy, range and appropriateness of vocabulary and grammar (including punctuation and, where relevant, script)

Section 3 – Writing in Japanese

- relevance, breadth and depth of content
- appropriateness of structure and sequence
- accuracy of vocabulary and grammar (including punctuation and, where relevant, script)
- range and appropriateness of vocabulary and grammar